

『2021 年度兵家連メンタルヘルスセミナー』（連携重視事業）

(公社)兵庫県精神福祉家族会連合会

1. 事業が目指すところ

精神疾患は未だ決定的な薬は無く、人薬、時間薬が主体を占めるが、それを理解するのも時間がかかる。多くの福祉サービスがあるが、そのサービスも多岐にわたり、複雑で周知されていない。精神医療制度そのものにも問題点が多く、その解決には多くの方々の協力が必要である。精神疾患に苦しむ当事者、ご家族、支援者、一般の方々に情報を伝えて地域連携を図り、偏見解消にも役立ちたい。



2. 活動内容

	開催月日	セミナーのテーマ
1	9月25日	精神障害者の家族のための介入技法プログラム
2	10月17日	統合失調症の人の回復力を高める家族のコミュニケーション
3	11月14日	家族のためのソーシャルスキルトレーニング(SST)
4	12月9日	最低賃金を目指す支援事業所からの報告
5	1月13日	困難事例の紹介
6	2月10日	当事者からの報告
7	3月13日	当事者の権利擁護について

参加者 95 名の第 3 回セミナー風景



日頃の悩みを専門家に質問する機会が非常に少なく、セミナーが終わった後も講師を捕まえての質問攻めの状態であった。

3. 成果や課題

6 回までの開催で参加者延べ約 300 余名であった。様々なテーマで開催したが、本当に悩んでおられる方々ばかりであり、参加者の悩みに答えると共に今後の生きる希望を提供できた。しかし、課題は山積みであり、そのための福祉サービスや精神医療制度の改善と共に、偏見の解消が必要と認識された。

4. 今後の展望と成果の活用

- ① 多くの専門家や福祉事業所内に熟練の福祉支援専門職が居るが、その方々とのネットワーク作りを考えて行きたい。
- ② 何度もセミナー実施することが治療に繋がり、家族への救いになっている。
- ③ 7 回シリーズの講習会資料の製本と配布
- ④ 今後は、一つのテーマで複数回のセミナーを開くシリーズ形式のセミナーを開催したい。